

令和7年度 羽村市企業版ふるさと納税の活用状況

昨年度、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付により、当市の掲げる将来像「まちに広がる 笑顔と活気 もっと！くらしやすいまちはむら」の実現に向けた取組を支援いただきました。

皆様からいただいた寄付は以下の事業に活用いたしました。

自分らしく生きるためのまちづくり事業

・東京都パートナーシップ宣誓制度との連携・多様な性への理解を深めるための取組みの推進

- ・「生理の貧困」への支援
- ・平和啓発事業の実施
- ・「スポーツの日」イベントの実施
- ・高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業の実施



☞東京都パートナーシップ宣誓制度との連携・多様な性への理解を深めるための取組み

[決算額：489 千円 うち寄付金 100 千円]

[女性・SOGI 悩みごと相談業務委託料：(契約先)一般社団法人 カウンセラース・オフィスとも]

性的マイノリティの方々が暮らしやすい環境づくりにつなげる取組として、東京都パートナーシップ宣誓制度を活用して提供する行政サービスの拡大を進めました。また、多様な性に関する理解を深め、LGBTQ などの人々に対する誤解や偏見をなくすため、多様な性に関する啓発活動、性的指向や性自認に関する悩みごと相談に取り組みました。

スマートにくらすためのまちづくり事業

・電子申請等行政手続きのオンライン化の推進

- ・羽村市 LINE 公式アカウントを利用した情報配信システムの運用
- ・外来生物による生態系等への被害防止対策の実施
- ・都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定に に向けた取組の実施
- ・動物公園の管理運営の充実
- ・指定管理者制度による公園、児童遊園の管理運営
- ・生涯学習センターゆとろぎの計画的な設備更新 など、他3事業



☞電子申請等行政手続きのオンライン化の推進

[決算額：3,116 千円 うち寄付金 1,800 千円]

[電子申請システム使用料：(契約先)オーイーシー株式会社]

スマートフォンやパソコンから手軽に利用できる電子申請など、行政手続き等のオンライン化を推進しました。オンライン化に当たっては、電子申請ツールの共同利用及び子育て関係手続等のオンライン化に取り組んでいます。

にぎわいを創るためのまちづくり事業

- ・企業誘致促進制度の充実
- ・企業支援事業の充実
- ・創業支援事業の充実
- ・「はむら市民と産業のまつり」の実施



☞「はむら市民と産業のまつり」の実施

[決算額：12,000 千円　うち寄付金 1,100 千円]

[はむら市民と産業のまつり事業助成金：(助成先)はむら市民と産業のまつり実行委員会]

令和5年度から開始した「はむら市民と産業のまつり」について、市民と、商業・農業・工業・建設業等の事業者や消費者団体、行政が互いに力を合わせて「住む・働く・楽しむ」を融合させたイベントとして事業内容の充実を図りました。

自治体運営の方針に基づいたまちづくり事業

- ・行政評価における外部評価の実施
- ・組織力の強化に向けた人材マネジメントの推進
- ・公共施設等総合管理計画の推進



☞組織力の強化に向けた人材マネジメントの推進

[決算額：5,842 千円　うち寄付金 200 千円]

[職員研修委託料：(契約先)株式会社話し方教育センター]

職員の能力や意欲を引き出し、組織力を強化するため、長期的かつ総合的な視点をもって、人材の確保、育成、評価及び処遇などの人材マネジメントを推進しました。